
「脳卒中患者におけるたこつぼ型心筋症の臨床像」に関するお知らせ

このたび、[当院で診察を行った患者さんの情報](#)を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2024年3月31日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、頭蓋内出血、くも膜下出血、出血性脳梗塞の診断で入院治療を実施した患者さんのうち、入院中にたこつぼ型心筋症と診断された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

脳出血やくも膜下出血など出血性脳卒中後の稀な合併症として、たこつぼ型心筋症が知られていません。一部の患者さんは重症化して心機能が低下するため、その予防や治療法が重要です。しかし稀な病態であるため、原因や適切な治療法など不明な点も多いのが実情です。出血性脳卒中の患者さんにより良い治療が提供できるよう、これまでの治療データを使用して、たこつぼ型心筋症の臨床像や予後を検討しようとしています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科で入院治療を行った患者さんの診療記録、手術記録から収集した年齢や性別、既往歴などの背景、及び来院時の重症度や出血や動脈瘤の部位・サイズ、手術の情報、合併症、予後など

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者で

ある栢原 智道が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

通常の診療過程で得られた患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 栢原 智道

研究担当者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 武 裕士郎

研究担当者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 栗田 浩樹

研究担当者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 鈴木 海馬

研究担当者 埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 前田 拓真

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 栢原 智道

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-3678（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：脳卒中患者におけるたこつぼ型心筋症の臨床像

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科 栢原 智道